



江津工業高校 建築・電気科 × 江津本町

# 江工生まちづくりプロジェクト 2019

建築・電気科 3年生 左から  
藤田汐里・川本瞳  
平藪真彩・川邊くるみ  
鐵田翔太・河野拓斗  
岡田昂大・三上楓葵  
生越淑人・永田彩人

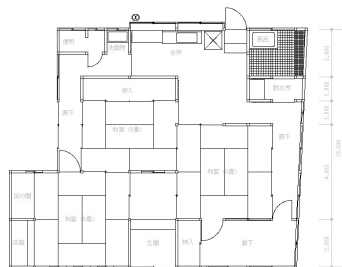
## 江津工業生が江津本町の活性化を進める！

昨年度、本校の建築・電気科の生徒が「建築甲子園 2018」で全国の強豪校を押さえて準優勝した構想が、実現に向けて今年また一歩前進します。これは江津工業生が、学校で学んだ自らの知識や技術を用いて、指導教員とともに江津本町の活性化に本気で取り組むものです。高校生が授業で町に出ることやイベント、リノベーション、他者との関わりを通してまちづくりに参加しています。

各方面の協力を得ながら、今年も「ときわ印刷」のリノベーションを継続し、1階内装を完成させてテナント利用が可能な状態にする予定です。また、本町にある空き家を収益物件に変えるべく、旅館業の簡易宿所許可取得を目指しています。さらに、登録有形文化財（建築物）である旧江津郵便局をギャラリー化し、積極的に集客できる建築物にする予定もあります。

## 1 空き家を宿泊施設へ変える試みがはじまる！

今後も増える空き家問題の解決策の一つとして、放置されている「負動産」を「簡易宿所」に変え、収益物件にできないかと考えました。宿泊施設を多人数で利用するゲストハウスをイメージしてもらえばいいと思います。誰かを宿泊させて収益を得る方法はいくつかありますが、そのひとつとして近年「民泊」という言葉を聞きます。民泊は旅行者が一般の民家の一部または全部を有償で借りて宿泊するものです。しかし、民泊では年間営業日数の上限などの制限があります。また、簡易宿所化を目指す理由は、2020年東京オリンピックを意識した旅館業法や



建築基準法などの関係法令等の規制緩和があります。これらのことから地域企業・団体と連携して空き家を簡易宿所にすることを目指しています。現在は建築士から講習、対象建築物の調査、関係書類の作成、申請の実践などを勉強しています。

## 2 ときわ印刷のリノベーション継続中！

7月27日（土）松江工業高校電気科の生徒と協働で旧ときわ印刷のリノベーションを行いました。「ときわりノベーション」を知っていた松江工業高校の先生からの依頼を受けて実現したもので、県内の工業高校同士が合同で作業を行うことは非常に希です。4時間程度と短い時間でしたが、両校の生徒はドキドキした様子で活動していました。社会に出たときには、多種多様な人と関わります。その練習として、よい機会になったと思います。現在は床面の一部と壁・天井の仕上げをしています。限られた時間での作業のため、なかなか思うようには進みませんが、今年度中の完成を目指しています。

